平成29年1月1日（日）

水は資源 下水道でつながる輪新聞 from 日本 to 台湾

発行日 2017年1月
発行者 刈谷市立 住吉小6年 細井美里

トイレに座って考えよう

or

!?

その日は突然に台湾に引越し決定

その日は突然やってきた。父の仕事で来年の春から台湾に住むことになった。夏休み、初めての海外旅行、初めての台湾に行って驚いた。なんとトイレットペーパーが流せないのだ!!!

観光で101タワーに登り、ウキウキしながらトイレに入ると、便器の横に大きなゴミ箱があり、中には、使用済の紙が!

Qなぜ紙が流せないの？

水洗トイレなのに。そこで、トイレに座って考えた。それは…。

A、紙を流すと下水がつまるから。

実は、下水管のパイプが細く、又、水圧も低い。紙もかためで水に溶けるまでにつまってしまうのだ。ゴミ箱に紙がたまると暑い国なので臭いや、衛生的にも問題があると思った。何より不便だし、紙を処理する事でもエコではなく手間もかかる。

日本はどうなっているのか調べた。

刈谷市境川浄化センター

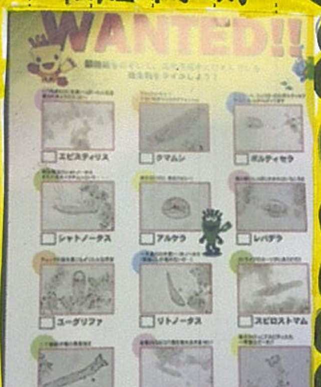
技術で守る水

驚いたのが、薬品を使わず、微生物と空気の力で水をきれいにしていた。

①搬入時の水とてもくさい。

②空気を送り、微生物を活発にし、微生物がゴミ、汚れを食べてくれる。川に戻す時にはCODは30%以下に。

。微生物の力


WANTED!!
エピスティリス
クマムシ
ボルティセラ
シャトノータス
アルケラ
レパデラ
ユーグリファ
リトノータス
スピロストマム
ロタリア
ペラネマ
アスピディスカ

。エアーで微生物の動きを活発に

。薬品を使わない＝環境地球、財政にもやさしい

トイレでティッシュペーパーを流せないわけは？

トイレットペーパーは水洗トイレで流す事を目的に作られ、ティッシュは鼻をかむ事を目的に作られ、やぶれない。水に溶ける物、溶けない物がある。＝下水に流せる物。流せない物がある。

左＝トイレトペパー 右＝ティッシュ＝つまる

下水道を使うルール

・ティッシュや油は、下水管がつまる。油は、下水管が固まってしまう。微生物も油は苦手で分解できない。理用者がルールを守らないといけない。

水を守ろう

今回、下水道と浄化センターに見学に行き気付いた事は、水を汚していたのは「私達」と「暮らし」だった。

私にできること

・汚れ物を出さない。

・食べ残しをしない。

・残った油は流さず、新聞紙に染み込ませる。

クマムシだって

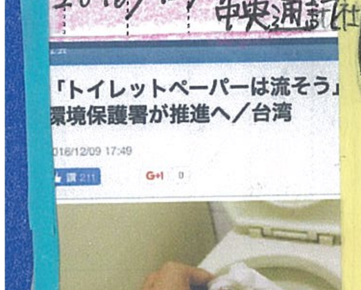
・技術によって環境を守る事が出来る。長年作られてきた自然界のバランスを崩さないように私達は、小さな物の小さな声を知っておかなくてはいけない。

・微生物を顕微鏡で発見したクマムシを見つけた。

こんなに小さな生き物が、私達の汚れを食べてくれていたのだ。日本の今している生活はあたり前ではなく、地球のために私の出来ることを続けたい。

12月 台湾ニュース

2016/12/9 中央通訊社



「トイレットペーパーは流そう」環境保護署が推進へ／台湾

2016/12/09 17:49

ビックリ!!

台湾環境保護署は、トイレットペーパーを便器に流す政策を宣言したという。3ヵ月以内に水まわりの設備メーカー、トイレットペーパーメーカーや行政とで実施の方法を検討するという。これはうれしいニュースである。

TO台湾 私のミッション

◎何が変わるのか？

・上下水道設備なのか

・水圧は上がるのか

・トイレの紙の質か

・溶けやすさはどうか

を調査していきたい。

トイレに紙が流せたら、衛生的にも、臭いにも、環境にも片付けの手間も楽になる。

◎もし、配管が細いままでも…。

・災害学習でペットボトルに水をくみ自分で流せば流れる事を学んだ。自分の生活を見つめ知恵を絞って水を浄化したり、どれだけエコで衛生的に暮らせるかチャレンジしていきたい。

実践・体験・体感

〈編集後記〉

不足分があれば、自分で補う事もエコ。自分で工夫して、台湾での生活にチャレンジしたい。

工夫してチャレンジする。